

1 快適な都市空間の形成

●都市の骨格となる道路整備

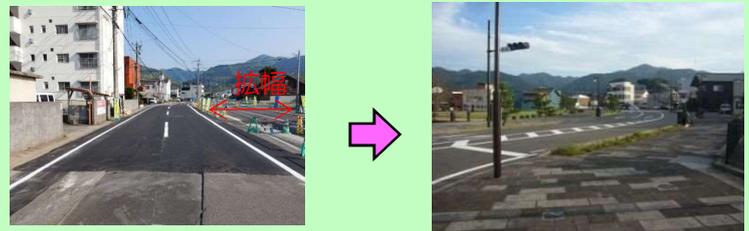
- ・慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。
- ・別府市の(都)山田関の江線では、用地買収及び改良工事を行い、平成30年度末に車道部の供用を開始しました。



ボトルネック解消 ((都)山田関の江線：別府市)

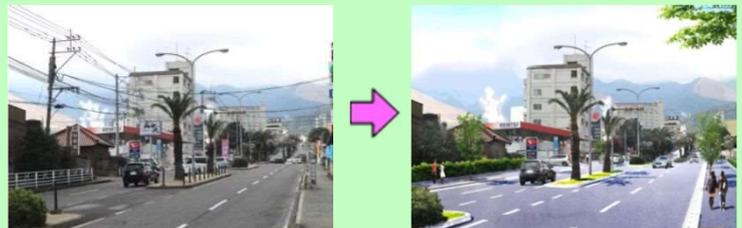
●道路空間の再生

- ・道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、街路灯の統一、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。
- 平成30年度は、臼杵市の(都)祇園洲柳原線では、改良工事を行いました。令和元年度も舗装工事等により、事業の進捗を図ります。



(都)祇園洲柳原線(整備中)

完成イメージ



(国)500号

完成イメージ

●都市公園の整備

- ・大分スポーツ公園に武道をはじめとする大規模大会が開催可能で、県民の誰もが気軽に利用できる昭和電工武道スポーツセンターが完成しました。スポーツ振興の拠点となるほか、大規模災害時には広域防災拠点として活用されます。



大分スポーツ公園



昭和電工武道スポーツセンター
(武道場)

【目標指標】

指 標	基準値		H30年度			R1年度	R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
主要渋滞箇所対策を講じる箇所数	H26	—	20箇所	19箇所	95.0%	21箇所	30箇所
1人当たり都市公園面積	H26	13.1㎡/人	13.2㎡/人	13.4㎡/人	101.5%	13.4㎡/人	13.6㎡/人
都市内の街路整備延長	H26	502km	506km	507km	100.2%	507km	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	山田関の江線(西野口町工区)の開通により、目標地を概ね達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園等面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	計画的な整備により目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。
- ・市町村に対し、計画的な改築や処理場の統合など、効率的な維持管理への技術的な支援を行っています。

●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、関係機関が連携して啓発活動を実施しています。

◆ 小学校への出張教室 ◆



R元. 7. 11 南小学校
(別府市)



R元. 7. 12 福良が丘小学校
(臼杵市)



R元. 5. 19 五月祭
(豊後高田市)

◆ 各種イベントでの普及啓発活動 ◆

●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

◆ 親水空間の創出 ◆



R元. 7. 28 田ノ浦ビーチ「マリンスクール '19」

【目標指標】

指 標	基準値		H30年度			R1年度	R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
生活排水処理率	H26	72.3	78.1	76.9	98.5%	79.7	88.2

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面の支援を行い、目標を概ね達成しました。

3 快適な住まいづくりの推進

● 県営住宅の建替

城南北ブロック建替工事に平成27年度から着手し、平成28年度にHRR-2棟42戸、平成30年度にHRR-3棟30戸の建替工事が完了しました。

段差のない移動経路、手すり設置及びエレベーター設置により、子育て世帯や高齢者・障がい者にも安心で安全な住環境を提供しています。

建替前



建替後 (HRR-3 棟)



住戸内バリアフリー（段差なし 引戸の採用 トイレ・浴室・玄関に手すり設置）が標準です。

1階は高齢者対応タイプとなり、加えて玄関入口の引戸、浴室・トイレの緊急通報システムが標準です。

● 県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行っています。

浴室



改修前



改修後

浴室の床をかさ上げして段差をなくし、手すり、給湯器、シャワーを設置します。

トイレ



改修前



改修後



和式便器を洋式便器に交換して段差をなくし、手すり、非常呼び出しボタンを設置します。

【目標指標】

指 標	基準値		H30年度			R1年度	R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値
県営住宅住戸内のバリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2	33.3	34.1	102.4%	33.0	35.0

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	高齢者向け改善事業で住戸内のバリアフリー化を実現した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

●主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。
- ・平成30年度は、豊後高田市と国東市間の広域的な観光ルートを形成する、豊後高田国東線一畑工区のバイパス開通などにより、ツーリズム振興に寄与しました。



豊後高田国東線 一畑工区（豊後高田市）

●良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、ラグビーW杯（R元.9）に向けて主要観光ルートの防護柵の更新や支障木伐採を引き続き実施しています。

《景観に配慮した防護柵の更新事例》

別府一の宮線（九重町）



《更新前》



《更新後》

●おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、道路案内標識の英語表記適正化（※1）を進め、また、消えかけた区画線の更新（※2）を実施し、来県者が目的地まで分かりやすく、安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

※1 《道路標識の英語表記の適正化》



Spa



Onsen

※2 《区画線の更新事例》 県道飯田高原中村線（九重町）



《更新前》



《更新後》

平成30年度実施県道飯田高原中村線外76路線、延長約12.6km

●観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。
- ・スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線（九重町大字田野 延長約5km区間）において、路肩拡幅等による道路環境整備（トレーニングコース整備）を引き続き実施しています。

《道路環境整備の事例》 県道別府一の宮線（長者原工区）



《整備前》



《整備後》